

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | Relはーとえいる | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年1月20日 ～ 令和8年1月30日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 5名 | (回答者数) 4名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年1月20日 ～ 令和8年1月30日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 2名 | (回答者数) 2名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年2月12日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 利用児一人一人の発達段階に合った支援ができること。 | 支援に入る前にスタッフ同士で打ち合わせをし、前日の活動の様子も共有しながら活動内容を決めている。 | 利用児一人一人の好きなこと、苦手なことをリストアップし、その利用児の特性をより深く理解していく。 |
| 2 | 帰りにご自宅までお送りに行った際、保護者の方に直接活動の様子をお伝えできること。 | できたことはもちろん、できなかったことも事実としてお伝えし、どのような支援があるとできるのかもお伝えしている。 | 自宅でもできる、取り組みを具体的に保護者の方にお伝えできるようにしていく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | 活動内容のバリエーションが少ない。 | スタッフの人数が少ない為、室内での活動が多くできる活動に限られてきている。 | スタッフの人数を増やし、事業所以外での活動も取り入れていけるようにする。 |
| 2 | スタッフのスキルにばらつきがある。 | 新しく入職したスタッフが多く、未経験での入職のスタッフもいる為。 | 日々の振り返りや定期的な研修でスタッフのスキルをできるだけ均一にする。 |
| 3 | | | |